

# 医療福祉・在宅看取りの (H28/9/12) 地域創造会議 通信 第39号



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

8月27日(土)に開催いたしました。「H28年度医療福祉・在宅看取りの地域創造会議総会・研修会」にはご多忙中にもかかわらず84名の方におこしいただき、意見交換会ではたくさんのご意見をいただき誠にありがとうございました。お陰をもちまして盛会のうちに無事終えることができました。意見交換会でのご意見を一部ですが掲載いたします。今後とも医療福祉・在宅看取りの地域創造会議をよろしく申し上げます。

## H28年度 医療福祉・在宅看取りの地域創造会議総会・研修会



**日時** 平成28年8月27日(土) 13時～16時55分  
**場所** ホテルピアザびわ湖 6階 クリスタルルーム  
**開会挨拶** 医療福祉・在宅看取りの地域創造会議 代表幹事 笠原 吉孝  
**総会** H27事業報告・会計報告  
 H28事業計画(案)・収支予算(案)

### 基調講演

テーマ『地域包括ケア時代の医療・介護について』  
 滋賀県医療福祉推進アドバイザー  
 四国医療産業研究所 所長  
 日本医師会総合政策機構 客員研究員



権本 真幸氏

### シンポジウム

「日常生活圏域の暮らしを支える在宅医療を推進する取り組み」  
 シンポジスト

本多 朋仁さん(医療法人かおり会 理事長)  
 溝江 景子さん(近江八幡市立総合医療センター 4E病棟 部長)

### 意見交換会

「地域包括ケアシステムの構築について」

各グループより発表



自覚者の皆さんが、地域を巻き込んで、在宅で安心して暮らしていくために必要なことを考える核となっていただきたいです。

笠原代表幹事

元気高齢者は底力を持っている

(時々医療、時々介護を受けながら地域に住み自分らしく生き自分らしく死ぬのが理想)

目的達成型、志を共有する地域発信型、この指とまれ。で地域ミッションをしっかりとっていけばいい。

講師 権本先生

<http://hitsumotoshinichi.com/2016/09/04/post-359/> 権本真幸車

リハビリの様子を動画でUPするあさがおネットの活用で難しかった医療と介護の連携ができるようになった。

難しい専門用語を用いなくても理解できる。

高島市では病院のリハビリ室、歯科、薬局等にあさがおネットがある。

シルバー(人材)さんの協力で出張リハビリカフェをやろうと思う。

シンポジスト 本多先生

誤嚥性肺炎患者の発症の予防から摂食・嚥下チームの発足、その活動の過程と成果。今後も、歯科診療をもたない病院にとって地域医療との連携が大事だと思う。シンポジスト 溝江さん

## グループワークより

### シンポジウムや講演を受けての感想・気づきなど

- ・高齢者が「ありがとう」といえる社会づくり、自分には何ができるのか?
- ・病院のPTに連携の大切さを知ってもらいたい。
- ・あさがおネット使い方を初めて知った。動画を見られるのがいい。
- ・病院NS一度地域に出てみるべきと思った。
- ・医療の限界まで望んでくる家族が多い。在宅医療、看取りの土壌がついていない。
- ・歯科衛生士の介入が必要だと思ったが一人で訪問させることができない。
- ・マイケアマネ制度を作るのはどうか?
- ・元気高齢者の活躍の場づくりが必要、農業はどうか?

### それぞれの地域での活動について(情報交換)

- ・栗東市介護者の会 生き方カフェをやっている。
- ・彦根市まちづくり懇談会。
- ・小規模高齢者施設 サロン・出前講座。施設食事の提供。

### 在宅療養・看取りの支援を進めるために、自分ならどんな活動ができそうか。今後の課題は?

- ・ICTスマホでとってLINEで送るような簡単なものはできないか?
- ・地域とのつながりが難しい。
- ・住民の理解・家族の理解を得ることが課題。

厚生労働省等の国機関からもたくさん参加いただきました。

- ・田中 義高さん(厚生労働省 大臣官房総務課)
- ・中園 和貴さん(厚生労働省 医政局総務課)
- ・櫻井 公彦さん(厚生労働省 年金局事業管理課)
- ・免田 圭介さん(厚生労働省 社会・援護局保護課)
- ・米岡 良晃さん(厚生労働省 社会・援護局保護課)

手段が目的になっていないか?自分の今の仕事にも活かしていきたい。  
 毎年この会を楽しみにしている。との声をいただきました。

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議  
 事務局 貝沼・橋本



Thank you



### 今回のワーキンググループ会議

日時:平成28年9月29日(木) 18:30~

場所 滋賀県庁 北新館 5A会議室

「～がんになってもこんなに楽しく生きられる～  
 がんと旅する飛び出し坊や 永田純子著」

卵巣ガン余命3週間と告知されてから、ブータン・中国・フィリピンなど旅した「純子さん」のウォーリース記念病院での最期を看取った、友人であり旅行記・闘病記製作に協力された堀江さん、坂本さんにお話をさせていただきます。

堀江昌史(ほりえまさみ)さん

坂本彩さん

メールかFAXでお申し込みください!!



↑↑↑ 堀江さんの記事が

9/3 京都新聞に掲載されています!

飛び出し坊や で 検索